

# Social 社会への取り組み

クボタグループでは、さまざまなステークホルダーの皆様の満足向上を図り、企業価値を高める活動を、それぞれのテーマごとにPDCAサイクルをまわして推進しています。

## お客様との関わり

### 優れた製品・技術・サービスの提供

「お客様第一主義」で、お客様の望みを超える商品・サービスを、お客様の予想を超えるスピードで提供することをめざし、「お客様に最大限喜んでいただくにはどうすればよいか」を「現場主義」で考え、できることはすぐに実行するということを積み重ねています。もっとも多くのお客様から信頼され、もっとも多くの社会貢献をなす「グローバル・メジャー・ブランド」の確立をめざします。

- お客様のニーズに適合した、魅力あふれる製品・技術・サービスを提供し、お客様の満足と信頼を追求します。
- 製品安全と優れた品質の確保に努めます。

—クボタグループ行動憲章より

### VOICE

### 私たちは約2か月間、KEWの実習生として堺製造所で実習しました



久保田発動機(無錫)有限公司(KEW)  
許琳、周林林

マナーや仕事に対する取り組み姿勢で、見習うべきことがたくさんありました。たとえば、堺製造所では、皆が大きな声でハキハキと挨拶を交わす光景が見られます。また、仕事の改善、設備の点検に自主的に取り組む姿勢に感動しました。

帰国後、実習で学んだことを業務に生かすだけでなく、重要事項をまとめ、新人の育成にも活用しています。



新設した米国 水環境の研究開発拠点

### 研究開発

世界中のお客様に「感動をあたえる商品」を提供するため、開発拠点の役割を明確にし、日本をコアとするグローバルな研究開発体制の充実に推進。社外との連携も促進し、開発のスピードアップを図っています。



技能五輪全国大会

### 生産・品質

「グローバル・メジャー・ブランド」の実現に向けたグローバルな生産体制の構築とともに、積極的な品質活動である「問題を未然に防止する活動」や定期的な品質監査、品質に関する仕組みの標準化を行っています。



サービス技術コンテスト

### サービス

クボタスマートアグリシステムに機械の順調稼働を支える新サービスを追加し、お客様ごとの的確なメンテナンスを実現。また、サービス技術や提案力を競うコンテストの開催やお客様満足度調査を実施しています。

### 最近のリコールの状況

- ERコンバインのリコール(リコール届出番号3784) ▶計3,650台(開始日2016年3月25日)
- ERコンバインのリコール(リコール届出番号3785) ▶計1,234台(開始日2016年3月25日)

詳細については、<http://www.kubota.co.jp/important/index.html>をご覧ください。

ご愛用の皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしましたことを心からお詫び申し上げます。

## 株主・投資家との関わり

### 適時適切な情報発信

積極的なIR活動を通じたステークホルダーの皆さまとの継続的な対話により、中長期的な企業価値の向上を図っています。また、適時適切な情報発信によって、ステークホルダーの皆さまからの信頼の獲得と幅広い株主層の形成をめざします。さらに、わかりやすいコーポレート情報や製品情報の発信、グループWebサイトの全体の構造見直しなどによってコミュニケーションの一層の充実を図ります。

- 適時かつ適切に企業情報を開示し、企業活動の透明性を高め説明責任を履行します。

—クボタグループ行動憲章より

## 取引先との関わり

### 公平・公正な取引の推進

クボタグループでは、公平な機会の提供、経済合理性、相互信頼、社会的信頼、CSR調達を基本的な考えとする「調達方針」に基づき資材を調達しています。また、海外生産拠点における調達が急速に増加する中で、世界規模での調達網の構築による世界最適調達を推進。「クボタグループCSR調達ガイドライン」を策定し、取引先からガイドラインの条項を遵守する同意書をご提出いただくことで、労働安全や人権尊重などの取り組みを促しています。さらに、紛争鉱物の調査への協力を要請しています。

- 各国・各地域の関係法令およびその精神を遵守し、社会の倫理や良識に従った企業活動を行います。

—クボタグループ行動憲章より



詳細は、当社Webサイトにてフルレポート版をご覧ください。  
<http://www.kubota.co.jp/report/index.html>

## 地域社会との関わり

### 地域社会への貢献

クボタグループは、事業を展開する世界各国・各地域の文化・習慣を尊重し、現地コミュニティとの信頼関係構築に努めています。さらに、企業市民としての責任を果たすため、「食料・水・環境」分野をはじめとして、企業スポーツを通じた社会貢献活動に取り組み、海外にもその活動を広げています。また、被災地の復興・再生に向けた支援活動も継続して行っています。

■ 各国・各地域の文化・習慣を尊重し、地域社会とのコミュニケーションを通じて信頼関係を築き、良き市民として社会との共生を図ります。

—クボタグループ行動憲章より

### 石綿問題への対応について

クボタは旧神崎工場周辺住民の方々や従業員に石綿疾病の方が出ている事実を真摯に受け止め、過去に石綿を扱ってきた企業として社会的責任を果たすという観点から、今後とも誠意をもってこの問題に取り組んでいきます。

詳細については、<http://www.kubota.co.jp/kanren/index.html>をご覧ください。

### クボタeプロジェクト

「食料・水・環境」分野における社会貢献活動への取り組みとして、2008年度にスタート。



クボタ地球小屋(てらこや)

### 企業スポーツ

ラグビーチーム「クボタスピアーズ」を運営し、子どもたちへのラグビー指導なども実施。



ラグラグビー教室

### 海外の活動

インドの井戸建設活動支援、タイの次世代農家教育や、米国のチャリティイベントなどを実施。



インド井戸建設支援

### 被災地支援

東北や熊本の被災地復興・再生に向けたさまざまな支援活動を次世代教育や製品供給を通じて実施。



宮城県・福島県の農業高校で稲作実習に協力

## 従業員との関わり

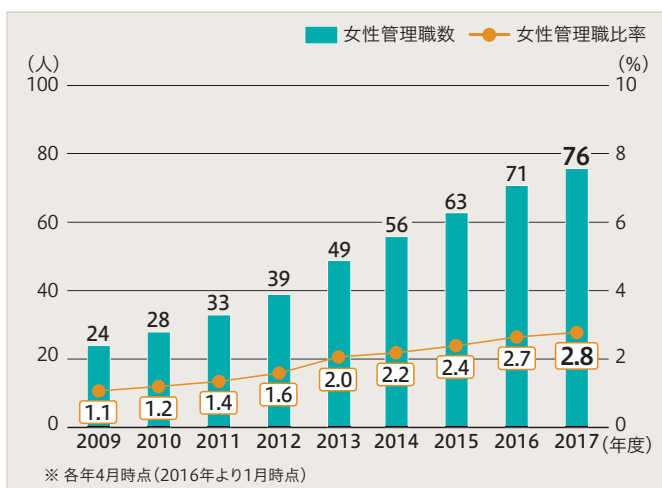
### 働きやすさと働きがいの提供

従業員がクボタグループで働くことに、誇りや喜びを実感できる風土づくりに努めるとともに、従業員が安全に、安心して、そして働きがいをもって働ける活気ある職場づくりを進めています。海外でも、「クボタグループ 行動憲章・行動基準」を基に、監査やヒアリングを実施し、グループ全体の従業員関連施策の底上げを図っています。

- 安全で健康的な職場環境の維持、向上に努めます。
- すべての人の尊厳と権利を尊重し、人権侵害を行いません。
- 従業員の多様性・創造性・挑戦意欲を尊重し、活気に満ちた職場をつくりまします。

—クボタグループ行動憲章より

### 女性管理職数の推移※(クボタ単体)



### 安全

安全に、安心して働くことができる職場づくりのために、2013年に「クボタグループ 安全衛生基本理念」を制定。



クボタグループ安全衛生大会

### ダイバーシティ

人事制度や研修などにより女性の活躍を促進。また障がい者自立を支援する2つの特例子会社を設立・運営。



女性管理職向けの研修(上司との合同セッションの様子)

### グローバル化

海外トレーニー制度の拡充、研修生受入時のガイドラインの制定、新入社員への語学研修の継続などを実施。



海外トレーニー制度

### 人権

人権の尊重を「行動基準」に明記し、国内外で人権意識の向上に努め、人権研修の実施や相談窓口を設置。



役員・幹部向けのLGBTに関する人権研修

### 生き生き職場

メンタルヘルス不調の早期発見・未然防止に取り組むとともに、ワークライフバランス環境の充実を推進。



メンタルヘルス研修会

### CSRマインド

企業理念の浸透定着を目標とした研修のほか、経営幹部対象CSRフォーラムや従業員CSR意識調査を実施。



企業理念の浸透定着活動